

富山経済同友会

会報

2021.3月
No. 300



スケッチオーディション決勝大会（2月14日）

CONTENTS

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| ● スケッチオーディション（人財創出委員会）… 2 | ● 課外授業講師派遣 …… 7 |
| ● とやナビプロジェクト（人財創出委員会）… 3 | ● リレーエッセイ⑩（中沖 雄 氏）…… 8 |
| ● 企画総務委員会（第6回、第7回） …… 4 | ● 経済団体合同新春互礼会 …… 9 |
| ● 第7回地域創生委員会 …… 5 | ● 活動報告 …… 9 |
| ● 第5回働き方改革委員会 …… 5 | ● 会員の入退会 …… 12 |
| ● 第9回教育問題委員会 …… 6 | ● 今後の予定 …… 13 |
| ● 教育講演会等講師派遣 …… 6 | ● わが青春の1枚（稲田 祐治 氏） …… 14 |

起業家の原石を見つけよう！

スケッチオーデション～原石発掘～

人財創出委員会(中澤宏委員長)は2月14日(日)、起業支援事業「スケッチオーデション～原石発掘～」決勝大会を富山市のSketch Lab(スケッチラボ)にて開催し、会員14名と予選を通過した学生・社会人合計6名が参加した。

本企画は、ピッチ大会の開催を通じ若手起業家の育成、県内の起業支援に寄与することを目指すとし、とやま未来共創チームと富山ニュービジネス協議会との共催で、初めて開催した。当初予定されていた予選大会は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、動画審査に代え行われた。23名のエントリーがあり、厳正な審査のもと決勝進出者6名が決定された。

大会冒頭、塩井代表幹事が開会挨拶を述べ「新型コロナウイルスによって生活様式、経済の状況は大きく変わり、今後我々の想像もつかない環境に突入していく。これは新しい事業が地域経済を発展させる大きなチャンスでもある。コロナで困っていることを解決する方法、サービス、商品を事業化していくことがアフターコロナでのチャンスに繋がる。決勝戦へ進出した皆さんからの素晴らしい提案を期待している」と激励した。

決勝大会は、5分間のプレゼンテーションにより行われ、発表者からの創意に富んだプレゼンと、熱のこもったコメント・質疑が繰り返され、大いに盛り上がりを見せた。

また、記念講演として、株式会社ムスカ前代表取締役COOの安藤 正英氏を招き「起



塩井代表幹事



安藤講師

業を目指す皆さんへのメッセージ」と題し講演いただいた。大先輩である安藤氏からの多くの示唆に富んだアドバイスに、起業を目指す参加者たちは目を輝かせて熱心に講演に聞き入り、積極的に質問をぶつけていた。

審査の結果、優勝は「複業人材と地方企業のプロジェクトマッチングサービス スタヒロ」を提案した島田勝彰さん、準優勝は「MODELING X VR活用で世の中アップデート」を提案した山田航大さんに決定した。また、今回唯一の高校生参加者で「NO(濃)



優勝した島田さん(左)と中澤委員長



準優勝の山田さん(左)と村上副委員長

密富山ライフ～密を避け、富山で濃密な思い出づくりを～」を提案した大内ソフィアさんに特別賞が贈られた。

終わりに、麦野代表幹事が「大変熱心な発表、討論をしていただき、



特別賞の大内さん

素晴らしい雰囲気だった。皆さんそれぞれにユニークな着眼点で、これからどのように原石が磨かれていくのか楽しみにしている。起業することは簡単なことではないかもしれないが、是非大きなパワーを持って、1歩でも2歩でも実現に近づけて欲しい。当会としても、地域の経済の発展のために少しでも皆さんのアイデアをサポートできればと思っている。今後とも頑張ってください」とエールを送り、スケッチオーデション～原石発掘～を締めくくった。



麦野代表幹事

オンラインでU I Jターンの魅力発信 とやナビプロジェクトーミートアップ富山ー

人財創出委員会（中澤宏委員長）は2月18日（木）、U I Jターン促進事業「とやナビプロジェクトーミートアップ富山ー」をオンライン開催し、会員企業18社と50名の学生が参加した。

過去2回実施したUターン促進事業「おかえりプロジェクト」を昨年U I Jターンを対象とした「とやナビプロジェクト」に拡大し、今回はコロナ禍における新たな形としてオンライン開催した。参加者が気兼ねなく、人生の先輩である経営者と語り、富山県の企業や富山県そのものの魅力を気軽に感じてもらうことを狙いとし、副題をーミートアップ富山ーとした。

冒頭、麦野代表幹事が開会挨拶を述べ「当会は地域活性化のために多様な取り組みを行っており、このプロジェクトもその一環。今回で4回目の開催となるが、おかげで多くの方に富山との関係を強くしていただいている。皆さんの不安や疑問、どんなことでもいいので経営者に直接ぶつけていただき、充実した時間にしてほしい。本日のプロジェクトが、皆さんの素晴らしい未来へのきっかけになることを祈ります。皆さんも是非、富山で一緒に頑張りましょう」と呼びかけた。

各企業が個別ルームに分かれての面談では、各社大変活発に意見交換が行われていた。オンラインながら、参加者はこの貴重な機会に多くの率直な質問を投げかけており、富山の企業、経営者の考えについて大いに理解を深めていた。

終わりに、中澤委員長が「経営者と直接話せるというなかなか無い機会に、富山の企業について再認識いただけたのではないかと思います。コロナ禍によって就職活動や求められる働き方の形が変わり、皆さん大変だと思うが、

今日のプロジェクトが一つのきっかけとなることを願っている。一人でも多く、富山へのU I Jターンを実現していただければ大変嬉しく思う」と述べ、とやナビプロジェクトーミートアップ富山ーを締めくくった。エンディングには、参加者全員で富山のTを模したTポーズで記念撮影し、和やかな一体感の中プロジェクトは終了した。



Tポーズ！

参加者からは、「いろいろな企業のお話が聞けて非常に面白かった、経営者の方がとても気さくに話してくれた」「今まで考えてこなかった職種のお話が、就活のうえで非常にためになった」「今まで知らなかった素晴らしい企業と出会えた」という声が多くあった。従来のプロジェクトの延長にオンラインという形を切り開いたと同時に、多くの企業との対話の機会を設けることで、新たな企業・経営者との出会いが生まれ、これまでに無い機会の提供にチャレンジできたプロジェクトとなった。



麦野代表幹事



中澤委員長

企画総務委員会

SDGs宣言・60周年記念事業に向けて — 第6回 —

1月6日(水)、第6回企画総務委員会(桶屋泰三委員長)がインテックビル4階スカイギャラリーで開催され、委員ら12名が出席した。

今回は①SDGs推進を考慮した来年度の委員会構成案、②本年4月27日(火)の創立60周年記念式典で披露するSDGs宣言案、③SDGs宣言をするにあたっての当会の「環境憲章」見直しの要否、④創立60周年記念式典・祝賀会のスケジュール、予算案などについて検討を行った。

冒頭、桶屋委員長が挨拶したのち、事務局がSDGs推進を考慮した来年度の委員会案と創立60周年記念式典で披露するSDGs宣言案を説明、そして当会の「環境憲章」はS



桶屋委員長



DGsの理念が反映されておりSDGs宣言の際の見直しは行わないことについて説明した。

その後、意見交換を行ったが、SDGs宣言については次回委員会までに各委員が宣言文案を考え、提出することとした。

次に羽根由60周年記念事業担当役員が創立60周年記念式典・祝賀会の次第、予算案などを説明した。

宣言の文案について意見交換 — 第7回 —

2月5日(金)、第7回企画総務委員会がホテルグランテラス富山で開催され、委員ら13名が出席した。

今回は①SDGs宣言案、②60周年記念事業を主なテーマに意見交換した。

冒頭、桶屋委員長の挨拶ののち、高林幸裕SDGs推進担当役員がSDGs宣言案について説明した。今回は、前回の第6回委員会において各委員から「宣言文案」を募集することになったことを受け、委員の皆さんから提出された案を紹介しながらの説明となった。その後、活発に意見交換を行い、SDGs宣言の委員会案が採択された。

次に羽根由60周年記念事業担当役員から記念式典のしおりの構成案、記念講演会が6月12日(土)に決まったこと等について報告があり、その



高林常任幹事

後、本年4月27日(火)開催の記念式典・祝賀会の参加人数の見通しと新型コロナウイルス対策などについて意見交換を行った。



羽根常任幹事



新時代の地域活性化への提言案を検討

～ 第7回地域創生委員会 ～

第7回地域創生委員会（山野昌道委員長）が1月22日（金）、富山電気ビルディングで開催され委員22名が出席した。

最初に、山野委員長より「今次委員会の集大成として提言書案を作成した。忌憚のないご意見をいただきたい」と挨拶



山野委員長と稲田担当役員

があり、議事に入った。まず、石倉央副委員長が第6回委員会（県外視察：高松市）の概要について報告した後、今次活動を踏まえた提言書案について意見交換を行った。

提言書案について山野委員長より、①テーマを「デジタル化推進と地方創生」としたこと、②第5回委員会で実施したフィールドワーク「大人の遠足」は提言とは別に小冊子やウェブサイトを作成し発信することとし、原井紗友里

副委員長よりそれぞれの概要案について説明があった。

委員からは「デジタル化そのものの施策だけでなく、働き方改革など根本として必要な部分も触れるべきではないか」「デジタル化推進のメリットや目指す将来像を明示してはどうか」など、提言内容の充実に資する意見はもとより「策定した提言等を積極的に発信すべき」という意見が出るなど終始、活発な意見交換が行われた。



最後に稲田祐治担当役員が「委員長はじめ委員の皆様のおかげで、楽しく学び懇親を深められた委員会活動であった。提言書についても熱心に議論をいただき、内容重視の提言に仕上がると思う。感謝申し上げます」と挨拶し会議を締めくくった。

それぞれの働き方改革を振り返る

— 第5回働き方改革委員会 —

第5回働き方改革委員会（遊道義則委員長）が2月3日（水）、富山電気ビルディングで開催され、ZOOM参加者を含め29名の委員が出席した。

冒頭、遊道委員長が「コロナ禍の1年を経て、働き方改革が進展した方も多いのではないか。行動する同友会、自分自身がどう行動するかこそが大事。これまでの取り組みを振り返り、2年間の活動のまとめを行っていききたい」と挨拶した。



遊道委員長

続いて、委員長のプレゼンにより2年間の委員会活動を振り返った後、ワークシートを用いて自身の活動を整理し、グループごとにそれぞれの働き方改革の取り組みについて活発なディスカッションが行われた。

意見交換後、各グループの代表者による発表が行われ、「ワークライフバランスの改善、ノー残業デーの実施、週休3日制の導入」などに

取り組んだこと、「社員の期待との乖離、ルール化によりモチベーション低下の懸念、組織としての仕組み作りと意識改革、エンゲージメント向上が必要」といった課題があったこと、今後の目標として「オンラインへの仕事移行と部分的な最適化、多様な働き方に対応した人事評価制度の見直し、ジョブ型を意識しつつバランスのとれた新しい働き方を追求していきたい」といった意見が出された。

最後に、津嶋春秋担当役員が「人間は考える葦である。考えることによって、経営者として様々な課題を解決していくことが必要だが、その一つのテーマが働き方改革。本日の成果をそれぞれの企業に持ち帰り、一生考える葦であっていただきたい」と挨拶し、委員会を締めくくった。



子どもたちの「生きる力」を育むために

— 第9回教育問題委員会〈今次最終委員会〉 —

第9回教育問題委員会（伊東潤一郎委員長）が2月22日(月)、富山第一ホテルで開催され、委員15名が参加した。

冒頭、伊東委員長が「提言書は、委員の皆様にご意見をいただき、最終案としてまとめることができた。さらに議論を深め、仕上げてまいりたい」と挨拶した。



伊東委員長

会議では、提言の最終案が示され、これまでの委員会などで議論された内容を踏まえた変更点を中心に、子どもたちの「生きる力」を育む社会の実現を目指して、取り組むべき方向性と具体的な10の方策について説明が行われた。

委員からは、提言内容に対して、「学校教育を経済界がサポートしていくという趣旨がよい」「SDGsの目標(4. 質の高い教育をみんなに)

とも方向性が一致している」「これまでの活動を踏まえてさらに次のステップに進んでいくという、いい内容になったのではないか」といった意見が出され、提言は案のとおり了承された。また、今後の取り組みについて、「子どもたちの意見も反映し、サークルを回すように取り組んでほしい」「提言は目的ではなく手段。『行動する同友会』の原点に戻って実行していくことが必要」などの意見があり、委員長は「提言の中には、同友会が取り組むべきことも盛り込まれている。会員の皆さんの協力も得ながら、来期以降の活動につなげていきたい」と述べた。

最後に、大橋担当役員が「社会を持続可能なものとしていくために、教育の果たす役割は重要。大事なのは提言をどう実践していくかであり、今後も教育界と連携した取り組みを進め、社会に貢献してまいりたい」と挨拶し、委員会を締めくくった。

「A I時代の教育に求められること」

牧田副代表幹事・氷見市立比美乃江小学校で講演

令和3年2月18日(木)、牧田和樹氏（㈱牧田組取締役社長）が氷見市立比美乃江小学校において、教員25名を前に「これからどのような子を育てていくべきか そのために学校・教師はどうあるべきか」と題して講演を行った。

牧田社長はまず、「教育七五三」について説明し、小学校で3割、中学校で5割、高校で7割が、授業について行けず学習内容を理解できていないと言われている。大学進学率が約5割である現在、大卒者の中にもこれらの者が含まれており、就職後、企業が再教育しているという現状を認識し、どう対処するかが問題であると訴えた。

続けて、コロナ禍により教育界でもデジタル化が加速しているが、A Iの進化により、子どもの習熟度や理解度に応じて授業内容や学習する順番を変更するなど、一人一人に応じた学び方が可能となっており、学校や教師には授業だけではない力が求められている。「デジタル化やA Iにどう対抗するかを考えなければならない。それがこ

れからの教育の根幹を支えるものとなる」と強調した。

そして、我々は人「共感の時代、感性で子どもたちと人の間に「間(ま)」

が存在する人間社会に生きており、この間をコントロールするのが「共感」であるが、A Iには感情や共感といった感性はなく倫理観もない。「A Iに対抗するには、人に共感できる人間性を身に付けることが必要である」と語った。

最後に、「共感とは『知恵＝知識×経験』があって生まれるものであり、知識と経験をストックしていくには、様々な分野、年齢の人と積極的に交流することが大切。それが子どもたちに伝える力となる」としたうえで、さらに、「目標を明確に決めて、論理的かつ情緒的に相手に伝えることでリーダーシップを発揮し、教育七五三の解消につなげてほしい」と述べ、講演を締めくくった。



生きるということ、大人になること

— 課外授業講師派遣 —

第13回 富山市立速星中学校

令和3年2月9日(火)、遊道義則氏(株)ユニオンランチ取締役社長)が富山市立速星中学校において、1学年333名を前に「働くということ、生きるということ。～目標を達成する習慣をつけよう～」をテーマに課外授業を行った。

遊道社長ははじめに、言葉の不思議さと大切さに触れ、「〇〇になれば」と希望するのではなく、「〇〇になる」と言い切ることで、実現することや目標につながるから、出来るだけ早く自分の夢を具体的に決めることが大切であるとし、我々は自分の発する言葉によって制御されており、肯定的に物事を考えることが大事であり、意図を明確にし言葉で伝えることで、より有意義な時間を過ごすことができると説いた。

次に、人生は様々な選択の連続であるが、常にそのとき可能な最善の選択をしているのであり、結果がどうであろうと自分を責めたり後悔してはいけない。「大事なことは、そのことにどんな前向きな『意味付け』をするかであり、そ

の『習慣』をつけることである」と強調した。

そして、「目標は達成するもの」「目的は追求するもの」と違いを説明したうえで、人生の目的を早く見つけた方が目標の設定がしやすいが、目的が見つからなくても、目標を達成していくうちに方向性は見いだせる。「目標は『絶対に達成する』と固く誓い、達成するまで挑戦し続けることが大事である」と語った。

最後に、「自分の人生、誰かが何かをしてくれると思わず、自分で何が出来るかを考えてほしい」とし、「素晴らしい将来が待っている。自分に自信をもって、今からどんどんチャレンジして行ってほしい」と激励し、授業を締めくくった。



「自分の可能性を信じよう」と遊道社長

第14回 氷見市立比美乃江小学校

令和3年2月18日(木)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長)が氷見市立比美乃江小学校において、5・6学年129名を前に「よいチームの作り方～リーダーとフォロワーの在り方～」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長ははじめに、教室で自分の前の席や後ろの席の友達に消しゴムを貸す場面での渡し方を例に挙げ、相手が使いやすい向きで渡すことが大切であり、それが相手を思いやることであると説明した。

そして、低学年の頃は「自分が～、自分は～」と自分のことが考えの中心だったのが、高学年になると自分以外の人のことを気にかけたり気遣えるようになり、次第にまわりのことが見えるようになってくる。「まわりが見えることで、相手を思いやることができ、対応できるようになる。それが大人になるということである」と説いた。

次に、「チームとは何か」と児童に問いかけ、「チームを作るには目的があり、一人でやって

もみんなでやっても効果が同じならチームである必要はない。一人でやるよりも大きな成果や結果を達成できるからチームを作るのである」としたうえで、「ただチームを作るだけでは効果は発揮できない。チームのメンバーがそれぞれ『思いやり』をもって行動することが大切であり、相手を思いやるには『まわりが見える』ことが必要である」と強調した。

最後に、「学校の勉強は、中学生、高校生とどんどん大人になっていった時に『まわりが見える』ように、必要な知識や力を身に付けるためのもの。今の学びは全て大人になるための基礎となる大事なことであり、日々の勉強に一生懸命取り組んでほしい」と述べ、授業を締めくくった。



「思いやりの気持ちを忘れないでほしい」と牧田社長



母校 安野屋小学校

中 沖 雄

(株式会社富山銀行 取締役頭取)

リレーエッセイ第101回を書かせて頂くことになった。身に余る光栄である一方、大変なプレッシャーを感じている。本企画の発案者で第1回と第100回執筆者の中尾哲雄さんからのバトンタッチ、しかも中尾さんは「第200回も私が書きたい」と仰っている。責任重大である。襲い掛かるプレッシャーを跳ね除けるべく早速材料探しに取り掛かった。手始めに事務局から送られて来た過去の執筆者一覧を見た瞬間、驚いて思わず声が出た。何たる僥倖、第2回執筆者は成田尚武さんであった。

成田さんは安野屋小学校の大先輩で、私が日本興業銀行勤務時代に電力担当だったご縁で欧州・北米の海外出張でお供させて頂くなど、公私共に大変お世話になった方である。不思議なご縁で、父親が富山県財政課長時代にお仕えた副知事が成田さんのお父上であったこともあり、親子二代で大変親しくさせて頂いた。2000年当時、米国のエンロンが日本の電力会社を乗っ取るという噂が拡がった。『黒船襲来』と騒がれて関係者が皆浮足立つ中、「それならば、どんな奴らか会って確かめてやろう」ということになり、成田さん他当時の電力会社の役員が中心になって電力・ガス、興銀、政投銀他十数名からなる海外電力市場視察団が組成され、私もそのメンバーに入れて頂いた。ニューヨークでエンロンのCFOに会ってみると「なあんだ、あんな奴ら大したことないじゃないか」と仰ってニヤリと笑った姿が今でも忘れられない（その後エンロンが破綻した経緯はご存知の通り）。

ここで我が母校、安野屋小学校の思い出について触れておきたい。毎年夏休みに行われる町内対抗少年野球大会が私にとって最大のイベン

トであった。安野屋校下の小中学生が町内別にチームを作ってトーナメント形式で優勝を争い、優秀選手は県地区大会に出場出来るので、皆ガチンコで競い合った。(何と！)その中で中尾哲雄監督率いる鹿島町と塩井保彦監督率いる安野屋町が毎年優勝候補で凌ぎを削っていた。私は、舟橋町の1番センターであったが、この2チームとまともに当たったら勝ち目はないと思っていた。上手い具合に2年連続で決勝まで当たらずに済んだが、小5では鹿島町、小6では安野屋町に敗れて2年連続準優勝に甘んじた。両監督共に非常に熱心で、敵チーム(勿論、相手は小学生と中学生です)に対して闘志剥き出しで向かって来た。私は、足には自信があったので、内野ゴロでもヒット、二盗も加えて実質二塁打という作戦だったが、敵将は良く分かっていて「そいつは打たせるな!三振だ、三振で仕留めろ!!」と大声で容赦無い野次が飛ぶ。校下中の大人も子供も見守る緊張感の中で、小学生が大の大人から浴びせられた強烈な言葉は一生忘れられない。もう46年も前の話だが、同友会歴代代表幹事の両監督に当時の話をする、眼光が一層鋭く光る様に感じるのは私のトラウマだろうか。

中尾さんから成田さんに渡されたエッセイのバトンが、17年の時を経て今度は私が受け取ることになった。これも運命の導きか。残念ながら安野屋小学校は少子化で廃校になったが、今回寄稿させて頂いたお蔭で、お世話になった諸先輩への感謝の気持ちや当時の友人達との思い出が、私の心の中で生き生きと甦って輝いている。

(次号は日本銀行富山事務所 事務所長の
小川万里絵 様です。)

経済5団体「新春互礼会」

— 新型コロナ感染対策を徹底して開催 —

富山県内の経済5団体による新春互礼会が1月4日(月)、ANAクラウンプラザホテル富山で開催され、企業経営者や首長ら総勢326名が参加、当会からは40名が出席した。



昨年新春互礼会は約480名が出席したが、今年は新型コロナウイルス感染症対策として出席者数を絞り、食事の提供や鏡開きは中止した。

最初に富山県経営者協会の金岡克己会長が

「新型コロナのようなパンデミックは社会の変化を加速させている。ここに集まった皆さんには持てる力を発揮し、変革を加速させ、より良い富山づくりに向けて邁進していただきたい」と開会の挨拶を行った。

引き続き、来賓を代表して新田八朗富山県知事が挨拶。「新しい時代の富山県の社会・産業・経済のビジョンを作っていくため富山県成長戦略会議の設立に向けて準備している。経済界の協力と理解を得ながら、新しい富山の実現に道筋をつけたい」と述べた。

最後に富山県商工会議所連合会の高木繁雄会長が「コロナ禍でウイルス対策をしながら実体経済を進めるには、色々なことへの挑戦が大切。勇気と希望を持ち、みんなで難局を乗り越えよう」と閉会の挨拶を行い散会した。今年は時間を40分間と短縮しての開催となった。

活動報告

1月1日～2月28日

○幹事会・定例会等

開催日	内 容	出席者
1月29日(金) (書面開催)	1月幹事会 議 案：会員の入退会 報告事項：(1) 創立60周年記念事業について (2) 活動予定・活動報告	96名

○委員会

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
1月6日(水) 15:30～17:00 タワー111 スカイギャラリー	第6回企画総務委員会	・SDGs推進を考慮した委員会再編案について ・SDGs宣言について ・「環境憲章」と「SDGs」について ・60周年記念式典・祝賀会のスケジュールについて ・60周年記念事業の予算案について ・ホームページのリニューアルについて	12名

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
1月22日(金) 17:00～18:30 富山電気ビルディング	第7回地域創生委員会	・第6回委員会（県外視察）報告 ・提言の内容について ・フィールドワーク「大人の遠足」 発信について	22名
1月25日(月) 16:00～17:30 タワー111 スカイギャラリー	人財創出委員会 第10回正副委員長会議	・提言書（素案）について ・各事業の進捗状況について ・とやナビプロジェクト ・スケッチオーデション ・（公社）経済同友会との連携 ・必要な人材に関するアンケート 調査結果（速報）	9名
1月26日(火) 11:00～12:00 事務局会議室	教育問題委員会 第11回正副委員長会議	・教育に関する提言案について	8名
1月28日(木) 14:00～15:30 事務局会議室	文化スポーツ委員会 第6回正副委員長会議	・今次活動状況について（報告） ・「同友会の日」について ・活動報告書作成について	5名
2月3日(水) 17:00～18:30 富山電気ビルディング	第5回働き方改革 委員会	・働き方改革の取組状況について	29名
2月5日(金) 15:30～17:00 ホテルグランテラス 富山	第7回企画総務委員会	・SDGs 推進を考慮した委員会再編案 について ・SDGs 宣言について ・60周年記念事業について ・60周年記念事業の予算について ・ホームページのリニューアルについて	13名
2月14日(日) 15:00～18:30 Sketch Lab	人財創出委員会	スケッチオーデション～原石発掘～ （起業支援イベント）	14名
2月16日(火) 11:00～13:00 事務局会議室	教育問題委員会 第12回正副委員長会議	・教育に関する提言案について	9名
2月18日(木) 10:30～17:00 オンライン開催	人財創出委員会	とやナビプロジェクト～ミートアップ 富山～（UIJ ターン促進イベント）	出展18社 参加学生 50名
2月22日(月) 17:00～19:40 富山第一ホテル	第9回教育問題委員会	・教育に関する提言案について	15名
2月25日(木) 10:30～12:00 事務局会議室	地域創生委員会 第9回正副委員長会議	・提言書について ・フィールドワーク「大人の遠足」 発信について	5名

○課外授業講師派遣

開催日時	学 校	対 象	講師・演題
2月9日(火)	富山市立速星中学校	1学年 333名	遊道 義則 氏 「働くということ、生きるということ。 ～目標を達成する習慣をつけよう～」
2月18日(木)	氷見市立比美乃江 小学校	5・6学年 129名	牧田 和樹 氏 「よいチームの作り方 ～リーダーとフォロワーの在り方～」

○その他の会合

開催日	内 容	場 所	出席者
1月4日(月)	令和3年度経済団体新春互礼会	ANA クラウン プラザホテル富山	麦野代表幹事 塩井代表幹事 他計40名
1月16日(土)	(公社) 富山青年会議所2021年度新年祝賀会	ホテルグラン テラス富山	塩井代表幹事
1月25日(月)	令和2年度富山県子育て支援・少子化対策 県民会議	富山県庁	遊道働き方改革 委員長
2月1日(月)	第1回第5期富山県工賃向上支援計画検討 委員会	富山県民会館	有藤事務局長
2月3日(水)	富山県暴力追放運動推進センター 第2回理事会	ANA クラウン プラザホテル富山	東澤幹事
2月3日(水)	令和2年度富山型キャリア教育充実事業に おけるインターンシップ連絡協議会	富山県民会館	有藤事務局長
2月10日(水)	令和2年度富山市病院事業経営改善委員会	富山市民病院	市森幹事
2月12日(金)	令和2年度富山県幼児教育推進連絡協議会	富山県農協会館	島田教育問題 副委員長
2月15日(月)	富山県ボランティアセンター運営委員会 令和2年度第2回運営委員会	富山県民会館	有藤事務局長
2月18日(木)	氷見市立比美乃江小学校 教職員への講演（講師）	氷見市立比美乃江 小学校	牧田副代表幹事
2月19日(金)	富山県中小企業の振興と人材の育成等に 関する県民会議・中小企業支援専門部会	富山県民会館	有藤事務局長
2月22日(月)	令和2年度第2回富山県中小企業の振興と 人材の育成等に関する県民会議	富山県民会館	塩井代表幹事

会員の入退会

(1月幹事会)

1. 最近思うこと

(社業についての抱負や最近の政治・経済・社会情勢等についての考えなど)

2. 生活信条(座右の銘等)

3. 趣味

入 会



さいとう よし かず
斉藤 好一

(株)ブレインズトラスト

代表取締役

(紹介者: 桶屋泰三氏)

1. 新型コロナと共存する社会経済のあり方をしっかりと鑑みる必要があると考えます。
2. 今が人生の本番である。リハーサルではない。
3. 読書、寺院巡り

入 会



にしだ み き
西田 美樹

(株)PCO

代表取締役

(紹介者: 牧田和樹氏
羽根 由氏)

1. 競争社会から共創社会への変化と必要性を強く感じています。企業間連携を楽しみながら、地域経済の一躍を担えるよう努めてまいりたいと考えています。
2. 「日日是好日」
3. 音楽鑑賞、お酒

交 代



にしだ たか ふみ
西田 隆文

高岡商工会議所

専務理事

(前: 荻原隆夫氏)

1. 歴史資源の多い県西部の拠点、新幹線で富山・金沢へ約10分の新高岡、国際港伏木富山などハブシティとしての高岡の強みを活かした商工業発展の具体的施策を提案していきたい。
2. 天命に安んじ人事を尽くす
3. 読書、音楽鑑賞

所属企業変更

羽 根 由 氏

(株)PCO 取締役会長

→ (株)生活ネット研究所 代表取締役

退 会

田 邊 嶽 之 (株)グリーンエネルギー北陸
代表取締役

(令和3年1月29日現在 会員数424名)

今後の予定

開催日	対 象	行 事	場 所
4 月 8 日(木)	全会員	第33回全国経済同友会セミナー	オンライン開催
4 月14日(水)	幹事以上	4 月幹事会	富山電気 ビルディング
4 月27日(火)	全会員	令和 3 年度定時総会・60周年記念式典・懇親会	富山国際会議場 A N A クラウン プラザホテル富山
6 月 6 日(日)	あけぼの会 会員	第80回あけぼの会ゴルフ・コンペ	呉羽カントリー クラブ
6 月12日(土)	全会員	創立60周年記念講演会 講師：安宅 和人 氏（ヤフー(株) CSO）	富山国際会議場
7 月15日(木)	幹事以上	7 月幹事会	オークスカナル パークホテル富山
7 月15日(木)	全会員	7 月会員定例会 講師：大野 均 氏（元ラグビー選手）	オークスカナル パークホテル富山

※新型コロナウイルス感染状況により、変更となる場合がございますのでご了承願います。

〔表紙写真〕

スケッチオーデション～原石発掘～

人財創出委員会が企画したビジネスプランコンテスト。決勝大会は2020年9月にオープンした富山市の未来共創拠点施設「Sketch Lab（スケッチラボ）」にて開催され、6人の発表者が5分間のプレゼンテーションによってしのぎを削り、盛況を博した。

コンテスト終了後には、発表者・審査員ら全員が晴れやかな笑顔と未来への決意を感じさせる各々のポーズを決め、一つのフレームにおさまった。

発 行 所

富山経済同友会

富山市牛島新町5番5号 インテックビル4階

電 話（076）444-0660

F A X（076）444-0661

e-mail: doyukai@po.hitwave.or.jp

http: //www.doyukai.org/



「EF81」とともに（昭和48年秋 某機関区にて）



心配はつづくよ どこまでも

加越能バス株式会社 取締役社長

稲田 祐治

私には妻と2人の娘がいる。私の目から見れば妻のおかげでうまく育ってくれたと思っている。娘たちも結婚して、長女には4人の子供がいる、私の孫たちだ。娘の長男は10月で5歳になる。そろそろ危ない年になってきた…。何が危ないかと言うと私の人生を振り返り想う。とにかく私の血を受け継ぐ初めての男子である。

高校2年、原付免許をとるや否や、友人から原付バイクを入手した。化学の先生から、ガソリンより灯油の方が発火点は低いと教わった。家には灯油が沢山あった。よし、今日は早く帰って実験だ。心が躍る。放課後一目散に帰宅、早速バイクに乗り暖機運転を実施、家に帰りエンジンをかけたまま、灯油を加えていく。エンジンは止まらない。

いいじゃないですか…！ と自画自賛。試走に臨むと、パワーのなさに愕然とする。3速以上では走れない。燃費も悪い。何のために灯油を入れたのか…と思うとがっかりした。翌日冷えたエンジンはかからずじまい、結局灯油とガソリンをこっそり庭に捨てる羽目になった…。

「ケチをしようとするれば損をする」と学んだ。

大学の研究室は内燃機関研究室。水素エンジンは当時としては究極のクリーンエンジンであった。それを搭載する水素自動車のタンクは二重構造、一部に氷点下230℃の液体窒素が入っていた。氷点下230℃の世界、赤いバラは薄いガラスのようにパリパリになり、金魚は…。

「命あるもの大切に」を信条として生きることとなった。

青春時代を振り返ると、私は頭に浮かぶと、とにかくやってみないと気が済まない。そのチャレンジ精神は良いと思うが、その先の落とし穴を回避することが実は苦手である。

結婚して妻というアドバイザーがついた。チャレンジを続けてきたが失敗はしなくなった。

自分が試みたこと、チャレンジ、そして失敗。そんなことを思い起こすたびに孫たちの行く末を案じざるを得ないこの頃である。（笑）